

津
高

津高校だより

平成30年度 第3号 編集・発行 三重県立津高等学校

初夏のキャンパスは活動が真っ盛り！様々な体験で生徒たちは成長

6月の津高は各学年とも生徒たちは校内・校外での活動を体験しています。1年生はスーパーサイエンスハイスクールの活動が本格化し、2年生は北海道修学旅行を体験しました。3年生は大学の先生方から医学をはじめ専門的な分野のお話を聴く機会を持っています。

(写真は修学旅行：札幌市の羊ヶ丘展望台)



美化活動に 600 人以上が参加

学校環境デー（6月27日）



三重県では、平成24年に策定した「三重県環境基本計画」に基づき、環境教育を推進しています。その一環として生徒が一斉に行動し、環境について考える「学校環境デー」を各学校が設定しています。



6月27日の放課後、有志生徒629人、職員16人の合計645人が参加し、校内及び学校周辺の清掃活動を行いました。蒸し暑い天候の中、約1時間、熱心にゴミの回収や雑草の除草などの作業に取り組むことができました。

ベトナムの大学生、教員と交流を深める

6月27日の午後、ベトナムのホーチミン市師範大学で高校理科教員を目指す学生10人と引率教員1人が本校を訪問しました。2年生の理科の授業に参加するとともに、放課後に交流会を持ちました。



学生たちは、アジア地域と日本の科学技術の発展を目的とした三重大学のプログラムで日本に招かれています。津高では3度目の受け入れとなります。

学生たちは学校概要の説明を受けた後に、2年生の化学の実験に参加しました。物質の分子量を測定する実験に津高生が取り組む様子を見学し、実験の疑問点を生徒に英語で尋ねたりしていました。また、自分たちでも同じ実験を体験していました。生物や物理の授業でも同様に実験に参加し、熱心に写真やメモで記録をしていました。放課後には科学系の部活動を見学するとともに、本校生徒たちと交流会を持ちました。学生たちは7月5日まで日本に滞在し、期間中、三重大学や県内外の施設で日本の理科教育について学びます。



SSH台湾研修の事前研修はじまる

SSH事業の一環として、本年度は台湾研修を行います。理数系の教育に力を入れている現地の高校を訪問し、お互いの取組の交流やフィールドワーク等を行います。訪問に向けてグループ学習等を実施しています。6月14日には事前研修として、前述のベトナムの大学生向けに理科(生物・物理)の実験プリントの英訳を行いました。



騒げ この広い大地で、誰よりも 2 学年修学旅行

6月19日から4日間、2年生は北海道修学旅行に出かけました。9つのクラスが3つのコースに分かれ、修学旅行委員の生徒による企画のもとで、北の大地の風光を楽しむとともに、親睦を深めました。

3泊4日で3つのコースで北海道を満喫

修学旅行団は初日の到着空港を起点に「千歳コース」「函館コース」「旭川コース」に分かれ、各クラスの修学旅行委員が時間をかけて練りあげた計画に沿って、北海道の自然、歴史、文化などについて



学びました。千歳コースはルスツでの自然体験学習や札幌での班別自由行動で学習を充実させました。函館コースは五稜郭、洞爺湖などを巡るとともに、函館の夜景や朝市を楽しみました。旭川コースは旭山動物園、オホーツク流水館、釧路湿原等の広域をバスで旅しました。

3日目には札幌に集結

3日目には9クラスが札幌に集結。夕食会を持ち、修学旅行委員の企画のもと、レクリエーション大会を持ちました。有志の歌合戦やジャグリング部の演技など多彩な出し物で大いに盛り上がりました。そして最終日は小樽や札幌市内観光を行い、たくさんのお土産とともに、全員無事に学校に帰着しました。



生徒たちは4日間の研修で学んだことを英語にまとめ、9月以降に授業で発表を行う予定です。

部活動等の成果報告

陸上部

県高校総体：女子 400m

第1位：魚住 るり（1年）

競歩 第8位：山本 泰誠（2年）

バドミントン部

県高校総体

男子団体 第3位：東海総体出場

女子団体 第5位

ラグビー部

県総体：第6位

ソフトテニス部

県高校総体 男子団体 第5位

ボート部

県高校総体

男子総合 優勝（13年連続）

女子総合 第2位

男女Sスカル 第1位

女子Dスカル 第1位

男子クウォドルプル 第1位

研究を深めるために～SS探究活動

6月13日、SS探究活動で三重大大学の金子聡教授（大学院工学研究科）に「研究を深めるために」という演題



で講演をしていただきました。研究の現場での経験をもとに、「研究は失敗が当たり前。失敗も楽しんでほしい」「幅広い知識がないと研究したことを社会に還元できない」等、多くのメッセージをいただきました。講演後には大学院の学生さんとの懇談もあり、より内容を深めることができました。

英語で科学を語るために～科学英語講座

SSH事業の一環として、今年度から科学英語講座が開設されました。6月28日の第1回講座は「英語はどうやって身につくの？～高校生のための第二言語習得論」というタイトルで三重大大学の早瀬光秋特任教授に講義をしていただきました。



1、2年生の希望者と台湾研修参加者の30人が参加し、基礎的な言語習得のしくみを学びました。早瀬先生のユーモアあふれる講義は活気に充ちていました。